

中小企業支援、不登校問題…

市民の切実な願い届けて

大阪市議会決算特別委 井上浩議員の質問から

15日の大阪市議会決算特別委員会で、日本共産党の井上浩議員は、介護保険料や国民健康保険料の問題（1面）の他、中小企業支援、児童・生徒の不登校など、各分野の市民の切実な願いを市政に届けて質問しました。

中小企業への賃上げ支援を

井上氏は、最低賃金の引き上げに伴う中小零細企業や雇用主への支援について質問。経済戦略局は「産業創造館で経営力強化のセミナーなどを実施している。経営相談で国の助成制度を案内している」などの答弁にとどまりました。

井上氏は、岩手県などが国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を、中小企業の賃上げ支援に活用していることを紹介。「大阪市にも下りているこの交付金も

不登校の相談体制の充実を

昨年度の大阪市の小中学校の不登校児童生徒数は7144人。市は、不登校に関する相談ができるスクールカウンセラー

15日の大阪市議会決算特別委員会で、日本共産党の井上浩議員は、介護保険料や国民健康保険料の問題（1面）の他、中小企業支援、児童・生徒の不登校など、各分野の市民の切実な願いを市政に届けて質問しました。

井上氏は、「スクールカウンセラーがいることはありがたいが、週1回だけだ」という保護者の声を紹介。「予約が取れないほど相談が殺到している。スクールカウンセラーの常駐や、せめて2〜3回に増やしてほしい」というのが、保護者の生の声だ」と述べました。

今年度の配置人数は326人ですが、相談体制は中学校が週1回程度、小学校は2週間に1回程度で、相談内容の3割を超えているのが不登校に関するもの。「学びの多様化学校」とされる心和

安全の確保へ議会が役割を

井上氏は、大阪メトロの南港ポートタウン線（ニュートラム）で相次ぐ運行トラブルについて質問しました。10月28日午前8時1分ごろ、コ

最後に井上氏は、違法な賭博であるオンラインカジノについて質問しました。健康局はオンラインカジノ対策として、啓発や相談内容に応じた医療機関の紹介などを行っている

井上氏は、日本から海外のオンラインカジノサービス、専門医師による相談

スモスクエアートレードセンター間で、車両を動かすための電気ケーブルが絶縁不良で停電が発生。11月6日午前8時13分ごろに、コスモスクエア駅を出た列車のブレーキ作動装置が故障し、緊急停車しています。

井上氏は、昨年5月と6月にも運行トラブルが起きたのを受け、地元住民と共に原因究明と再発防止、住民説明会の開催などを大阪メトロに申し入れたとし、その後の対応をただしました。

都市交通局は、5月25日は列車の緊急停止信号が誤って発信・受信したもので、6月7日は、車両点検時に駆動ギアへの注油を忘れるという人為的ミスだったと答弁。井上氏は、大阪メトロと市議会都市経済委員との意見交換が年1回だけでは足りないとし、再発防止や安全確保へ「議会がチェック機能を果たすべき時だ」と力説しました。

イトへのアクセス数は現在、2018年度の100倍以上だと指摘。「問題になっている闇バイトの背景に、若者に多額の借金を背負わせるオンラインカジノのまん延がある。依存症対策を強めると言いながら、一方でIR（カジノを核とする統合型リゾート）を誘致するのは、荒唐無稽な話だ」と批判しました。